

## 6. 今後の進め方

今後概ね20年間で具体化できる項目から検討を進め、実現に向けた取組みを進めていきます。

前ページで示したまちづくり構想を実現していくための取組みを4つに分類しています。

### 水や緑が豊かでうるおいのあるまち

鉄道連続立体交差事業とあわせた鉄道沿線のまちづくりを進め、まちの一体화를図ります。

- 新たな鉄道沿い道路の整備
- 新たな東西方向の道路の整備
- 踏切除去に伴う鉄道交差道路の整備



これらの取組みは、市民・行政・事業者等の連携と協力が必要です。

中長期的に都市計画道路の整備に取り組む、交通の円滑化を図ります。

- 都市計画道路の整備
- 生活道路網の見直し
- バスネットワークの改善
- 歩行者・自転車・緑のネットワークの形成



地域の個性を活かしたまちづくりを進め、にぎわい・魅力の向上を図ります。

- 商店街の活性化
- 癒し空間・まちなか緑の創出
- 観光・産業の振興化



地域の状況にあわせて面的まちづくりを進め、豊かな生活空間の創出を図ります。

- 地区計画等のまちづくりルールの活用
- ユニバーサルデザインの推進・整備
- 公園・広場の整備
- 治水対策
- 防災・防犯対策
- 良好な景観の維持・向上



### 誰もが安心して住み続けられるまち

### 日常生活に密着した商店街に元気のあるまち

- 道路・交通
- 活性化・土地利用
- 住環境・防犯防災
- 観光

これらの取組みによって、将来像の実現を目指していきます。

今後も、東村山駅周辺まちづくりの状況・動向は、このニュースでお知らせしていきます。東村山駅周辺での「こんなところが良い・・・」「こうすればもっと良くなるのに・・・」など、ご意見ご要望がありましたら下記までどうぞ。

問合せ先：東村山市本町1丁目2番地3 東村山市都市環境部まちづくり推進課

電話：042-393-5111(代表) 内線2793 FAX：042-397-9438

メール：machi@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

URL：http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/kakukaweb/039200/higashimurayama/higashimurayama\_index.htm

## 東村山駅周辺まちづくり基本構想

### を策定しました(その3)

創刊号から取組状況や内容をお伝えしてきました「東村山駅周辺まちづくり基本構想」を、平成22年2月に策定しました。これは市民の皆さんに、様々な方法で策定作業にご協力いただいたおかげです。本当にありがとうございました。

今号も引き続き、「東村山駅周辺まちづくり基本構想」を特集して、その内容をお伝えします。



東村山駅周辺まちづくり基本構想とは、市民、事業者、行政等がまちづくりの目標を共有し、各主体が行うまちづくりが、相互に秩序と連携をもって進められるよう共通の目標を定めたガイドラインのことです。今後は、この基本構想に基づいて東村山駅周辺のまちづくりを進めていきます。

今号は、ここです!

#### 「東村山駅周辺まちづくり基本構想」の構成

1 はじめに	基本構想策定の背景、区域、位置付け
2 これまでの経緯	策定経過
3 まちづくりの課題	東村山駅周辺における現状の課題
4 東村山駅周辺の将来像	まちづくりの方向性、東村山駅周辺の将来像
5 まちづくり構想	道路交通ネットワークと土地利用等の基本的な考え方
6 今後の進め方	まちづくり構想実現に向けた取り組みの考え方



# 5. まちづくり構想

まちづくり構想は、概ね20年後の将来あるべき姿を示したものです。  
 道路交通ネットワークと土地利用については、市民の皆さんの提言に基づいて作成したものです。

将来像やまちづくりの方向性を踏まえた上で、道路交通ネットワークと土地利用等の基本的な考え方を示します。



- ### ◆道路交通ネットワーク
- 広域的な道路
  - まちの骨格となる道路
  - まちの主要な道路
  - 主要な生活道路
  - 駅周辺の東西を結ぶ主要な道路
  - 新たな鉄道沿いの道路交通ネットワーク
  - 市街地の一体化を図る新たな東西方向の道路交通ネットワーク
  - 緑のネットワーク (沿道の景観・土地利用にあわせた街路樹ラインの形成)
  - 踏切の除却

赤枠で囲まれた3点は、  
 鉄道によるまちの分断を解消し、  
 まちを一体化していこうという  
 考え方を示しています。

その考え方が、土地利用にも  
 示されています。(赤点線枠内)



- ### ◆沿道土地利用
- 北西部の「歴史・環境・文化」資源を意識した沿道形成を図るエリア
  - 商店街の活性を図りつつ商業施設の集約した沿道形成を図るエリア
  - 周辺部の土地利用と調和した沿道形成を図るエリア
  - 商業的にぎわいととも「東村山の顔」をアピールするエリア
- ### ◆土地利用
- 商業・業務施設を集約しにぎわい・活力の創出を図るエリア
  - 日常生活に密着した商業施設等と周辺住宅地との調和を図るエリア
  - 今ある風景、緑を大切にしたい閑静な住環境の創出を図るエリア
  - 行政施設や文化施設の集約を図るエリア
  - 周辺の住環境とともに新たな企業育成を図るエリア
  - 日常生活に密着した商業施設等と北西部の「歴史・環境・文化」資源とを結び調和を図るエリア

赤字で示した部分は、「3. まちづくりの課題」に対応した方針です。

まちを一体にして、東村山駅周辺の将来像  
 「出会い」「ふれあい」があり、ぶらぶらと歩いて楽しいまちの  
 実現を目指します。

## 道路・交通

- 駅周辺部は、歩行者・自転車優先の考えに立ち、通過交通車両は、極力抑制する対策を講じます。さらにバリアフリーの観点をもって誰もが安全安心に移動ができる道路整備を目指します。
- 都市計画道路は、それぞれに道路の役割を位置づけ、計画的な整備を進めていきます。なお「3・3・8」「3・4・9」「3・4・29」「3・4・10の一部」「3・4・31の一部」は、優先的にその整備を進めるとともに、歩行者や自転車の快適な移動空間の確保を目指します。
- 既存の主要な生活道路は、都市計画道路の整備を進めたのち、歩行者中心の道路としての検討を進めます。
- 鉄道の立体化により、渋滞の原因や交通安全上危険な踏切の除却を目指します。さらに新たな道路交通ネットワークの整備を進めることで、分断されているまちの一体化を推進していきます。
- 都市計画道路の整備状況にあわせ、既存のバスネットワークの改善や、新規運行路線等の可能性について検討していきます。

## 活性化・土地利用

- 本区域を10のエリアに分類し、各エリアに応じた土地利用方針を定め、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。
- 駅周辺部は、歩いて楽しい、元気でにぎわいのある商店街の形成を図ります。
- 八国山緑地や北西部等に残る緑の保全に可能な限り努めます。また、まちなか緑を創出するために、都市計画道路の整備にあわせて、緑のネットワークの形成を図るなど、緑豊かなまちづくりを進めます。

## 住環境・防災防犯

- 地区計画・建築協定等まちづくりのルールを活用し、地域の個性を活かした良好な住環境を創出します。
- 人と人との日常的ふれあいを可能とする公園・広場づくりを行います。また暗所の解消、街路灯の設置などを行い、安全で安心して暮らせる住環境の形成に努めます。
- 狭隘な道路の拡幅整備や行止り道路の解消のほか、沿道の生垣化、電線の地中化などを総合的に進め、安全な避難場所、避難経路を確保し地震や火災に強いまちづくりを進めます。

## 観光

- 北西部にある「歴史・環境・文化」等の観光資源へのアクセスを向上し、あわせて「歩行者ネットワーク」や「自転車ネットワーク」を形成することで、観光資源を守り活かすまちづくりを進めます。

- 降雨時に、雨水を円滑に河川に導く雨水排水幹線の整備をし、また透水性の舗装、雨水浸透柵の設置などを積極的に採用する治水対策を進めます。
- 北西部にある八国山緑地や前川などの自然を活かした、景観の維持向上を進めていきます。